

沿岸各地の水温

(6月6～10日)

日本海 17℃台
陸奥湾 12～15℃台

津軽海峡 11～13℃台
太平洋 10～12℃台

今回は関根浜を除く各地域で昇温しました。平均前回差は+1.0となりました。

昨年と比べると、日本海側が-1.0度、津軽海峡側が-2.5度、陸奥湾内が-2.1度、太平洋が-1.7度で、平均昨年差は-2.1度となっています。

平年と比べると、日本海でやや高め、津軽海峡、太平洋でやや低め、陸奥湾がかなり低めで、平均平年差は-1.0度となっています。

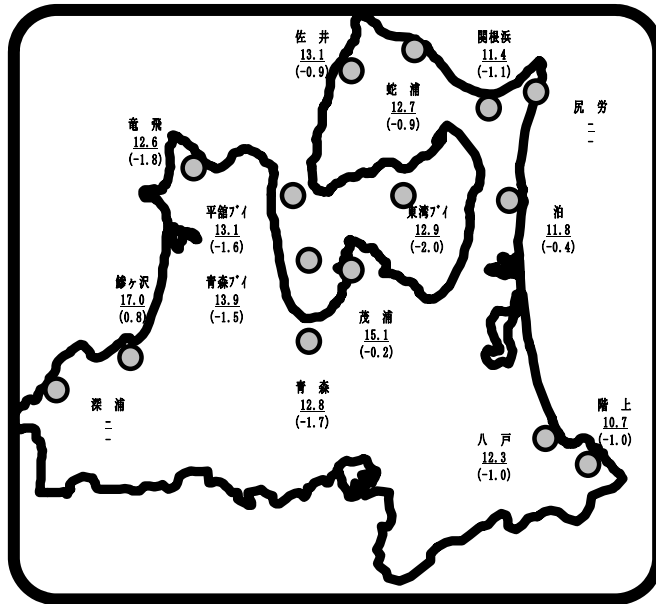


図 定地水温 (6月6～10日)
 平均値 (平年差) ブイ1m

	水温	平年差	昨年差	前回差
深浦	-	-	-	-
鮭ヶ沢	17.0	+0.8	-1.0	+1.7
竜飛	12.6	-1.8	-2.1	+0.2
佐井	13.1	-0.9	-1.9	+0.8
青森	12.8	-1.7	-1.7	+0.1
蛇浦	12.7	-0.9	-3.7	+0.2
関根浜	11.4	-1.1	-2.2	-0.5
尻労	-	-	-	-
泊	11.8	-0.4	-2.1	+0.9
八戸	12.3	-1.0	-1.2	+2.0
階上	10.7	-1.0	-1.7	+1.0
茂浦	15.1	-0.2	-1.9	+2.3
平館ブイ	13.1	-1.6	-2.2	+0.9
青森ブイ	13.9	-1.5	-2.2	+1.3
東湾ブイ	12.9	-2.0	-2.7	+1.7
平均	13.0	-1.0	-2.1	+1.0

太平洋の海況 (6月5～8日)

概況；沿岸水温は11～12℃台

○太平洋沿岸域の表面水温

前回と比べ1度ほど昇温していますが、前年同期と比べると1～2度低い水温となっています。

○津軽暖流の尻屋崎東方への張り出し

10℃等温線でみると東経141度50分付近までと、前回と変わっていません。

○親潮系冷水の南下

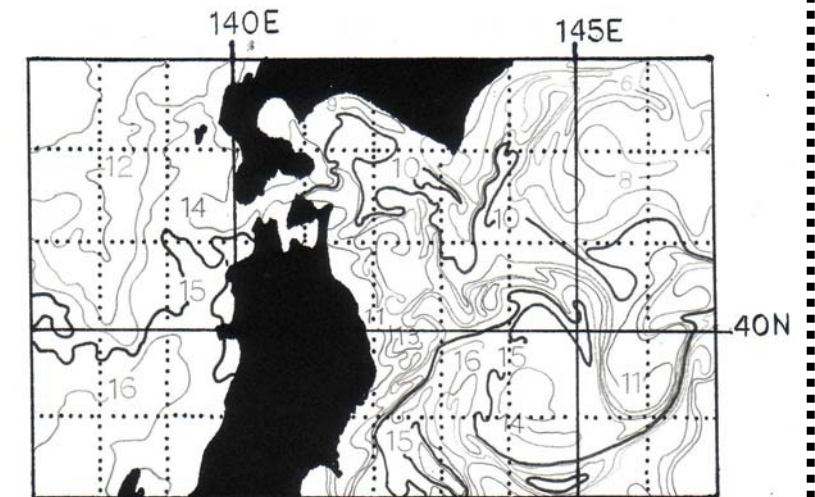
9℃等温線でみると北緯41度00分付近までと、前回より弱まっています。

日本海の海況 (6月5～8日)

概況；沿岸水温は14～15℃台

○日本海沿岸域の表面水温

前回と比べ1度ほど昇温していますが、昨年同期と比べると2度ほど低い水温となっています。



資料：(社) 漁業情報サービスセンター
 北部太平洋海況情報 第20号 6月9日

◎試験船情報

- 試験船開運丸は太平洋(出戸線)において、いか類漁場一斉調査を実施しています。6月10～11日までの結果は下表のとおりです。今回漁獲されたのはスルメイカです。
- 試験船青鵬丸は津軽海峡において、重要魚種資源モニタリング調査を実施しています。

開運丸 太平洋漁場一斉調査操業結果(太平洋沖合定線観測)

操業月日	操業位置	漁獲尾数(*)	魚体(cm)**	表面水温(℃)
6月10日	40-00.2,142-19.3(出戸沖)	21(2.42)	11～15(13)	13.7
6月11日	40-00.2,142-39.5(出戸沖)	11(1.22)	11～12(11)	13.0

* 釣り機1台1時間あたりの漁獲尾数 ** 主となる大きさ

◎青森県海面漁業漁獲状況調査月報(平成20年3月)の概要(資料：県水産振興課)

○平成20年3月中の本県の漁獲量は13,296トン、漁獲金額は39億2,140万円でした。前年同期と比べると、漁獲数量が6,722トン(前年同月比：102.3%)増、漁獲金額が13億6,809万円(比：53.6%)増となりました。

○ほたてがい(成貝)の漁獲量は2,731トンで前年同期比672トン(比：34.1%)増、漁獲金額は2億7,408万円の前年同期比336万円(比：△1.2%)減となりました。

○やりいかの漁獲量は611トンで前年同期比296トン(比：93.9%)増、漁獲金額は5億1,598万円の前年同期比2億0,986万円(比：68.5%)増となりました。

○すけとうだらの漁獲量は704トンで前年同期比148トン(比：26.6%)増、漁獲金額は4,048万円の前年同期比28万円(比：△0.7%)減となりました。